



## 代表理事よりご挨拶

拝啓

向夏の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本会の活動にご理解とご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

SETAC Japan Chapter の設立、一般社団法人としての活動開始から 3 年が経過致しました。この間、国内の活動として日本環境化学会、日本環境毒性学会および環境ホルモン学会への協力、協賛等を積極的に実施して SETAC 及び SETAC Japan の宣伝活動に努めてきました。また、独自の活動としては東南アジアで活動されている研究グループや企業の皆様にその活動のご紹介をいただくセミナーも 2 回開催し、2015 年にはインドネシアでの環境関連視察ツアーも実施致しました。また、3 年の間に SETAC Japan ウェブサイトが本部のウェブサイトからリンクされ、SETAC 本部より活動費の支援も頂けるようになりました。

本年 7 月には会員の皆様の日本国内での交流を目的に、初めての SETAC-J 年会総会も計画しているところです。また、本年は 9 月に韓国テグ市で SETAC-AP の Biannual meeting (SETAC AP 2018) も開催されます。今後も本部と連携して、会員の皆様の研究活動の支援に繋がるような企画をより充実させていく所存です。SETAC Japan のウェブサイトから会費の納入も可能になる予定です。

会員の皆様からのウェブサイトやメール等でのご意見や企画提案等お待ちしております。今後ともご支援くださいます様、よろしくお願い申し上げます。

敬具

一般社団法人セタックジャパン

代表理事 有蘭 幸司

(熊本県立大学環境共生部 教授)

## SETAC について

The Society of Environmental Toxicology and Chemistry (SETAC) は、「科学を通じて、より良い環境へ」をスローガンに、環境の諸問題に対する研究や分析・解析、天然資源に関する管理や規制、環境教育、研究開発に携わっている個人や組織から構成されている非営利目的の国際的な団体です。

「環境にかかわる諸問題を解決するための多方面にわたるアプローチ」「産官学の連携」「科学的基盤に立った客観性の堅持」の 3 点を設立理念として、1979 年に北米での設立以来、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテンアメリカ、アフリカでの地域ユニットが設立され、環境化学と環境毒性に関する学会としてはグローバル最大の規模で活動しています。

日本支部 (Japan Chapter) は、Asia-Pacific (アジアパシフィック) 地域ユニットの下部組織として 2015 年に設立しました。日本が培ってきた環境マネジメントの多岐にわたる分野の専門家が集い、日本及び東アジア地域のさらなる環境対策研究・技術・手法の協力的発展に貢献することを目的として、日本国環境省、日本国際協力機構、日本貿易振興機構や国内企業などと連携した環境保全に対する科学的、社会的アプローチ体制を日本及び東アジア地域で展開していきます。

## 会員

(2018年3月31日時点)

SETAC Asia-Pacific 日本人会員 (SETAC Japan 個人正会員) : 約 100 名

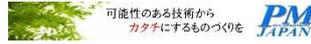
(過去 2 年以内に期限切れ・未更新 40 名含む)

SETAC Japan 企業会員 (入会日順・敬称略) :

Gold 3 社 [株式会社グロービック](#) [サイエンスソフトウェア株式会社](#) [日本プライスマネジメント株式会社](#)

Silver 2 社 [三浦工業株式会社](#) [瑞輝科学生物株式会社](#)

その他 Bronze 4 社



## 活動報告

- ・ 会員アンケートの実施

実施時期 : 7 月 配信数 : 92 件 回答者数 : 28 件

内容 : SETAC 日本支部としての今後の活動、および運営への協力可否などについて

- ・ 19th International Symposium on Pollutant Responses in Marine Organisms (PRIMO19)への SETAC Asia-Pacific との協同協賛および Student Award 実施

内容 :

- ・ 会場にてポスター展示およびチラシ配布
- ・ 学生賞受賞者の 10 名の学生へ賞状送付および特典として 1 年間の SETAC free student membership 授与 (受賞者 10 名はウェブサイトに掲載)

- ・ 関連学会等の共催・協賛・後援・協力および展示広報活動の実施

共催 : 食品分析の基本講座 Plus アルファ 2017 東京 (10 月・東京都品川区)、環境ホルモン学会第 20 回研究発表会 (12 月・兵庫県神戸市)

協賛 : PRIMO19 (上記)

後援 : なし

協力 : 国立環境研究所 リスク・健康研究センター生体毒性標準拠点実施「生態影響試験の全国一斉チャレンジテスト」(2~6 月)、第 26 回環境化学討論会 (6 月・静岡県静岡市)

展示 : 第 23 回日本環境毒性学会研究発表会 (9 月・東京都文京区)

## 会計報告

収入 : ¥1,077,953

支出 : ¥1,335,602

## 所在地

本部 : 〒862-8502 熊本県熊本市東区月出 3-1-100  
熊本県立大学 環境共生学部 有菌研究室内

東京事務所 : 〒111-0041 東京都台東区元浅草 1-8-6  
株式会社グロービック 東京事業所内

TEL 03-5246-4148 FAX 03-5246-4149

[info@setac-ea.org](mailto:info@setac-ea.org)

website URL: <http://www.setac-ea.org/>